

## 「愛知を食べる学校給食の日」に地元農産物を寄贈 JA西三河より市内36小中学校へ 総量1.5トン分、18,000人の児童・生徒に

JA西三河は西尾市内36の小中学校へ、給食用の食材として西尾市産の農産物（キュウリ・ニンジン・ハクサイの3種・総量1,556.5キログラム）を寄贈します。1月24日から30日の「愛知を食べる学校給食の日」・「全国学校給食週間」にあわせての開催で、JAが全西尾市の小中学校に向けて学校給食用の食材を寄贈するのは昨年1月以来2回目。

各学校では1月24日から29日の間、JAの寄贈した食材を使い『冬野菜とにぎす団子の豆乳鍋』・『きゅうりのささみあえ』といったメニューの給食が提供されます。市内18,000人の子どもたちが、地元食材を使ったおいしい給食を通して、地元で生産されている農作物について学びます。

### 【取材対応日】

日時：1月24日（木） 12:20～

場所：西尾市立花ノ木小学校  
（西尾市西尾市高島町6-1）

### 【メニューと使用する西尾産食材】

- ・冬野菜とにぎす団子の豆乳鍋（ニンジン・ハクサイ）
- ・キュウリのささみあえ（キュウリ）

※取材対応を行うクラス・教室は未定です。取材へお越しの際にはまず職員室へお越しください。

### 【JAが寄贈する食材リスト】

品名	使用量(キログラム)
キュウリ	651.5
ニンジン	218.2
ハクサイ	685.8
集計	1556.5

### 【地元産農産物を利用した学校給食 実施日】

1月24日（木）……西尾小、花ノ木小、鶴城小、西野町小、米津小、中畑小、矢田小、寺津小、福地南部小、福地北部小、室場小、三和小、鶴城中、平坂中、寺津中、福地中、東部中、吉良給食センター（吉良地区の6小中学校）

1月25日（金）……平坂小、幡豆給食センター（幡豆地区の3小中学校）

1月28日（月）……西尾中

1月29日（火）……八ツ面小、佐久島小、佐久島中、一色学校給食センター（一色地区の5小中学校）

※当日または前日にJA職員が農畜産物を学校または学校給食センターへ配達の手配です。



## JA西三河の食農教育活動

～農業体験・おいしい「食」を通じて 農業の大切さを伝える～

### ■ JA西三河の食農教育活動 概要

JA西三河では、「食」と「農」に対する理解促進のため、子ども達や親子を対象にした地域ぐるみでの食農教育活動を展開しています。

主活動である「米づくり体験授業」のほか、公募で実施する野菜作り体験「家族食・農体験農場 親子で学ぶ日曜学校」、県域団体のJAあいち経済連等と協力して実施する農業体験「親子で学ぶあいち米 おコメ実らせ隊」などを開催。また、農協内各部会（稲作青年部、きゅうり部会、女性部）も食農体験行事を開催し、地域一体となって「食」と「農」の大切さを伝えています。

### ■ 米づくり体験授業

「米づくり体験授業」は、JA主体では平成21年度（個別の活動としては昭和58年度）から継続して行っています。開始から10年目を迎え、こどもだけではなく、小中学校の教育関係者・地域の農家・地域住民・PTAや保護者の参加・協力の輪も広がり、広く市民になじみのある親しみある行事として定着しています。

平成29年度は市内18の小中学校（5年生、特別支援学級を含む）で、①田植え、②かかしづくり、③稲刈り、④収穫祭を主に行うほか、各小中学校では、田んぼアートづくり・泥リンピック・観察記録づくり・バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。

毎年度末には食農教育活動に関する意見交換会を開催しており、学校、農業指導者、JA支店の全関係者、東海農政局、愛知県、西尾市の行政機関が一堂に集まり、感想を共有し、次年度への改善、継続に向けて意識の共有を図っています。

### ■ 地元食材を給食用に寄贈

#### 食を通じて「西尾の農業」理解深める

JA西三河では平成29年度より、1月24日～30日の「愛知を食べる学校給食の日」「全国学校給食週間」に合わせて、西尾市内すべての小中学校36校に地元の農作物を寄贈しています。

初めての試みとなった平成30年1月には、西尾市産のハクサイ・ニンジン・ハウレンソウなどの野菜や小麦・豚肉といった農畜産物10種を寄贈。これを食材として、『野菜いっぱい西尾きしめん』・『なすとポークのメンチカツ』・『西尾のキャベツときゅうりのサラダ』といった西尾市産食材のメニューの給食が西尾市内の全小中学生と教職員ら約18,000人に提供されました。

またJAは食材寄贈と合わせて、それぞれの食材を生産した農家のメッセージも各校へ伝え、学校では給食日より献立表を通じて児童・生徒へ伝えられました。児童・生徒らは地元食材を使ったおいしい給食を通して、地元で生産されている農作物について学びました。



JA西三河女性部による親子農園では、一年を通して女性部員や営農職員が参加者に野菜作りを指導する



「米づくり体験授業」の田植え（5月）



吉田小学校で児童らとともに給食を楽しむ、西尾市の中村市長（左2人目）・JA西三河の名倉組合長（左3人目）（平成30年1月）